

## ウッドマイルズ研究会 (平成24) 2012年度 総会議事録

1 日 時 (平成24) 2012年7月21日 (土) 10時15分から11時45分まで

2 場 所 木材会館6階第1・第2会議室 (東京都江東区新木場1-18-8)

3 出席者

藤本 昌也	(株)現代計画研究所代表取締役会長
藤原 敬	(社)全国木材組合連合会常務理事
白石 秀知	NPO法人京都・森と住まい百年の会事務局
三澤 文子	京都造形芸術大学通信大学院教授
豊田 保之	トヨタヤスシ建築設計事務所代表
小林 伸吾	(株)小林建設代表取締役
近藤 勝	(有)北銘サポート代表取締役
菅 徹夫	(株)菅組代表取締役
高橋 理恵	和温waonスタジオ代表
中尾 祐典	洛東工業代表
中桐 秀晴	山梨県森林環境部県有林課森林利用担当
中根 康晴	(有)アラン建築設計事務所代表取締役
淵上 佑樹	NPO法人京都地球温暖化防止府民会議
森本 周子	もちりかぐみ
滝口 泰弘	ウッドマイルズ研究会事務局

※ 出席者 (15名)、表決委任者 (80名)、合計 (95名)

※ 正会員総数 (平成24年7月21日現在) 178名の過半数超により、会則第14条にもとづき開会。

※ 記録/滝口

4 審議事項

- (1) 議長選任の件
- (2) 議事録署名人の選任の件
- (3) 2011年 (平成23年) 度事業報告及び収支決算について
- (4) 2012年 (平成24年) 度事業計画及び収支予算について
- (5) 役員を選任の件
- (6) その他

5 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 議長選任

- ・議長に、藤原敬が全会一致で選出された。

(2) 議事録署名人の選任

- ・議事録署名人に、小林伸吾、中桐秀晴を選任したいとの提案があり、承認された。

### (3) 2011年度事業報告及び収支決算について

- ・事務局より、2011年度事業報告（案）及び収支決算（案）について説明。（別途総会資料参照）
- ・2011年度の収支決算の監査結果について、監事より監査報告書に基づき問題なしと報告された。
- ・現状の会費収入は、会員の約半数程度からしか得られていない。今後は会費徴収を強化する。
- ・長期優良住宅先導事業におけるウッドマイルズ関連指標の利用は、収益は特になかったが普及には効果があった。
- ・ウッドマイルズ関連指標については、カーボンフットプリントとの整合性も今後とっていくべき。
- ・以上の意見を踏まえて、2010年度の事業報告並びに収支決算について、全会一致で可決された。

### (4) 2012年度事業計画及び収支予算について

- ・事務局より、2012年度事業計画（案）及び収支予算（案）について説明。（別途総会資料参照）
- ・ウッドマイルズの指標はインセンティブが働く仕組みがあると続く。ウッドマイルズの目指すべき方向性をもっと議論するべき（国産材？地産地消？地域産業？効率性？等々）。（中桐）
- ・公共建築物木材利用促進法により47都道府県で計画が策定され、今は市町村に降りてきている段階であり、県産材利用が主目的になっているが、実態は怪しい所もあり県境の問題もある。ウッドマイルズCO2は、ここに1つの明快なツールを出した。また生産者と消費者の近さによる透明性の意義も伝えてきた。（藤原）
- ・ウッドマイルズの目指すべき方向について、ドイツやスイスでは村単位でエネルギーを作り売っているが日本もそういう時代になると感じている。エネルギーだけではなく木材も地域で作る。距離だけではなく地域を幅広く応援するべきでは。（三澤）
- ・ローカルであれば、FSCなどの複雑な仕組みがなくても、どのように繋がっているかを知ることが出来る。自立か、頼る社会か、の違いがある。（中桐）
- ・京都のウッドマイルズセミナーについて、今年は京都府では制度の改正も考えているようなので続けていくべき。今年は2月にやるという考えもある。（白石）
- ・工務店はメリットで動く。地域材をやっている立場では、うまくPRしたいと思っている。逆にどんなよい事例があったのか聞きたい。うまくやれているのか？または自己満足で終わっているのか？など。（小林）
- ・ウッドマイルズは地域材、地産地消から始まり、その後は、環境負荷の見える化というニーズが大きくなってきた。これまでどのように利用されてきたか、一度まとめて情報発信する。（滝口）
- ・リオ+20の議論では、どのように地域とコンタクトを取るか、ということがテーマであった。（藤原）
- ・この10年で何が変わってきたのか？国産材の政策か？個人的には、性能、数値至上主義になりすぎていると感じている。一般化するためには、ユーザーに納得してもらう言葉を持つべき。ほどほどの間隔のところの数値を。指標の運用については定性的な面も必要。（藤本）
- ・10年経ったので、何か新規事業を行いたい。金原さんと8月に予定している浜松のイベントを共催するなど。また、ユーザーが安心、納得できる広報も必要。（三澤）
- ・今後のウッドマイルズの方向性に関する議論の場の段取り等、事務局で整理の上実施していくことにて、2012年度の事業計画並びに収支予算について、全会一致で可決された。

(5) 役員を選任

事務局より、2012年度役員を選任について、提案を以下の通り提出し、全会一致で可決された。

会 長	藤本 昌也	株式会社現代計画研究所代表取締役会長
代表運営委員	藤原 敬	社団法人全国木材組合連合会常務理事
運営委員	白石 秀知	NPO法人京都・森と住まい百年の会事務局
運営委員	野池 政宏	住まいと環境社代表
運営委員	三澤 文子	京都造形芸術大学通信大学院教授
運営委員	相馬 秀二	財団法人下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部次長
運営委員	松下 修	松下生活研究所代表
監 事	山村 いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科
監 事	豊田 保之	トヨタヤスシ建築設計事務所代表

(6) その他

- ・この研究会の事務局を、東京都渋谷区代々木2-27-8代々木レジデンス401から、東京都渋谷区代々木2-21-10代々木パレス501に移転することを了承した。
- ・大屋根「屋久の家」ウッドマイルズ認証制度（案）について、内容および進捗状況を了承した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成24年7月23日

議 長	藤 原 敬	印
議事録署名人	小 林 伸 吾	印
議事録署名人	中 桐 秀 晴	印